

はじめに

神栖市は、人口約95,000人余りで、市立幼稚園が4園、小学校が14校、中学校が8校あり、令和4年5月1日現在の幼稚園の園児数は303人、小学校の児童数は4,943人、中学校の生徒数は2,520人です。

市教育委員会では、子どもたちの生きる力の育成を目指し、平成30年度に「豊かな人間性と創造性を備えた未来につなげるひとづくり」を基本テーマとした「第2期神栖市教育振興基本計画」を策定し、保育所（園）・幼稚園・小学校の接続の強化や情報教育の充実、空調設備やトイレの洋式化による教育環境の整備、家庭・地域・学校が連携した家庭教育の充実、スポーツ活動を継続的に実践できる環境を整備していくなど、第1期計画の取組と課題を踏まえ、重点的に取り組む中期的な考え方や具体的施策を示しております。

本年度においては、以下の事業に力を入れて取り組んでまいります。

学力向上推進事業につきましては、1人1台端末の効果的活用による個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実、主体的・対話的で深い学びの実践に向けて、各校のアクティブ・ティーチャーを中心とした校内研修やグループ研修に市教育委員会指導主事が指導助言を行うことで、神栖市授業スタイルの自校化、自分化を図ります。また、市費負担教職員や会計年度任用職員の活用により、少人数学級編制やチーム・ティーチングなどのきめ細やかな指導を実施します。さらに、市独自に英語力測定、小学生や中学生を対象とした英語研修を実施し、グローバル社会で活躍できる児童生徒の育成を目指します。

学校施設の環境整備につきましては、「神栖市学校施設等長寿命化計画」に基づき改修工事等を計画的に進めてまいります。本年度は横瀬小学校及び波崎第四中学校の校舎棟、神栖第三中学校におきましては体育館の外壁改修工事を実施いたします。

また、老朽化した小中学校プールの集約化を図るため、公営プールの立地していない波崎地区へ、学校利用を前提とした公営屋内温水プールの整備を進めており、本年度内の竣工に向け引き続き建設工事を実施し、令和5年度からの供用開始を予定しております。

I C T機器の活用環境整備につきましては、G I G Aスクール構想の実現のため、I C T教育環境の更なる向上を目指し、大型提示装置及び大型提示装置用ワイヤレスアダプタの増設を進めてまいります。

生涯を通じて学び続け、その成果を社会に生かし、充実した生活を送ることができるように、従来の対面形式に加え、オンライン学習などを取り入れ、コロナ禍における健康への配慮と学習機会の提供の両立を目指してまいります。加えて、「まなびアイかみす」等を活用した幅広い学習情報の提供に取り組んでまいります。また、学校と地域住民等が協働しながら子ども達を育む環境づくりを目的とした「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」の全小中学校導入を目指し、導入済みの市町村の情報を精査しながら、今後、関係機関と連携し準備を進めてまいります。さらに、スポーツ活動や文化芸術活動の拠点である市内運動施設や文化センターにつきましては、令和2年度末に施設整備の基本方針を定めた「長寿命化計画」を策定いたしました。将来にわたって市民が安心・安全に施設を利用することができるよう、本計画のもと、長期的な視点で計画的かつ効率的に施設の修繕・改修を進めてまいります。

神栖市教育委員会では、今後とも教育活動の主体となる学校、家庭、地域社会の皆様と連携・協働を図りながら、より良い教育環境づくりに取り組んでまいります。この「神栖市の教育」が多くの皆様に理解され、かみす元気っ子の育成にご活用いただければ幸甚でございます。

令和4年6月

神栖市教育委員会